

Automotive SPICE® v3.1 – プロセス解説コース

本コースは、システムやソフトウェアの開発に携わる方、管理者の方、品質保証や改善に関わる方、アセッサーを目指す方が、Automotive SPICE v3.1 の主要プロセス (VDAスコープ) を正しく理解し、実際のプロジェクトの開発作業に適用できるようにすることを目的としています。

本コースでは、講義および演習を通じて以下のゴールを達成することを目指します。

- Automotive SPICEの概要と構成の理解
- VDAスコープのプロセス、プラクティス、作業成果物の理解
- プラクティス間の関係の理解
- Automotive SPICE規定項目の実際の具体的なイメージの確立

コースの目的

- Automotive SPICE v3.1 の主要プロセス (VDAスコープ) の正しい理解
- 規定項目の具体的な適用イメージの確立

コースの成果

- プロセスの正しい理解と適用により、開発プロジェクトの改善が促進されます。
- Automotive SPICEのアセスメントに備えることができます。

コースの形式

- 本コースは、プレゼンテーションと演習で構成されています。
- 教材として、コーステキスト、補助資料、演習資料、及びAutomotive SPICEアセスメントモデルを使用します。(テキストは全32プロセスに対応していますが、講義の範囲はVDAスコープのプロセスです。)
- コースの最後に理解度確認テストを実施します。

対象者

- Automotive SPICEを理解したいシステム / ソフトウェア開発者の方
- Automotive SPICEを理解したいプロジェクトマネージャー、品質保証担当者、改善推進者の方
- アセッサーを目指す方
- Automotive SPICEに興味をお持ちの方

コースの内容

- Automotive SPICEの構造、用語
- Automotive SPICEのプロセス座標
- プロセス間の関係
- Automotive SPICEの能力座標
- Automotive SPICEアセスメントモデルの構成
- プロセス実施指標解説 (VDAスコープ)
 - (要件抽出)
 - システム要件分析
 - システムアーキテクチャ設計
 - システム統合及び統合テスト
 - システム適格性確認テスト
- ソフトウェア要件分析
- ソフトウェアアーキテクチャ設計
- ソフトウェア詳細設計及びユニット構築
- ソフトウェアユニット検証
- ソフトウェア統合及び統合テスト
- ソフトウェア適格性確認テスト
- プロジェクト管理
- サプライヤー監視
- 品質保証
- 問題解決管理
- 変更依頼管理
- 構成管理
- プロセス能力指標解説 (能力レベル1~3)
 - プロセス実施プロセス属性
 - 実施管理プロセス属性
 - 作業成果物管理プロセス属性
 - プロセス定義プロセス属性
 - プロセス展開プロセス属性

※ 本コースはコンピュータジャパン、ユーロフィンFQLの共催によりご提供します。

※ 本コースを修了することにより、PMP認定者は15PDUを申請することが可能です。

® Automotive SPICEは、Verband der Automobilindustrie e.V (VDA)の登録商標です。

© Compita Japan, 2022

お問い合わせ

・コンピュータジャパン

03-3516-2232

<https://www.compita-japan.com>

